

# 磐城時報

第三十卷 第十日  
印刷所 磐城時報印刷所  
發行所 磐城時報社  
電話 二五七  
代價 一月一元、三月二元、半年三元、一年五元

## 第三校増築を終り 青沼町長の喜び

### あす盛大な落成式

第三小學校増築落成式は明日午前九時舉行される事既報の如くであるが、落成式に先立ち青沼町長は左の如く喜びの所懐を述べた。

平町第三尋常小學校々舎増築工事を終り落成式を舉ぐるに際し所懐をのべます、我平町は近時町勢の發展に伴ひ就學児童漸増し昭和四年本校舎を新築したるも爾來數年ならずるに擴張の已むなき趨勢を見るに至り八年度に於て九教室の増築を計劃し町民の熱烈なる援助により町會の賛同を経て議決施行夏休利用を以て鋭

意奮勵遂に竣成を告げ、更に育英學修に利便を加へたるは洵に本町の盛事にして譽化の普及に因るもの實に慶福に堪えない、然れども校舎の設備は形骸にして教部の内容は其精髄である。今や非常時局に直面し國民教育の任を負ふ職員諸氏の責任重且つ大なりといふべきである。今日校舎新築に成りて修學其の處を得意氣頓に振ふて校魂切りに蘇る希くば督旨を奉戴し協心戮力以て兒童教育に最善の力を盡され一意奮勵點睛の對果を擧げ益々校運の隆昌を圖り愛に町民の真情に應へて善終の全きを得せしめられたい。云々

## 湯本町會議員選舉

### 愈々明日一日に迫る

### 遂に言論戦展開さる

湯本區會議員選舉は愈々明日一日に迫るので落選の憂目を見た。午前七時から午後五時まで町民ないし町會議員選舉以上の激しい選挙戦が展開され、名簿登録の運動が行はれてゐる、候補者有権者數二千四百六十二名で左の如し

▲政友派  
大井川正巳、島崎三五郎、鯨岡久一郎

▲民政派  
星辰吉、片寄金作、小野亮、箱崎義一、若松幸平

▲入山炭礦

須藤熊雄、若松修一、松繁庄一、比佐源藏、生天目嘉清  
政友派大井川正巳候補は三十日午後六時から小學校で區會議員候補者出馬について所感演説會を開く。

## 四倉校増築落成祝賀式

工費一萬七千九百四十圓六十四錢で落成した四倉校増築竣工祝賀式は二十九日午前十時來賓二百余名臨席新妻町長の式辭、工事報告の後功勞者を表彰し來賓の祝辭、表彰者の答辭等あり閉式した。功勞者左の如くである

## 根本、松崎町議の争ひ

### 検事の調停で解決

### 松崎氏告訴取下げ

平町會議員根本品藏、松崎長太鐵道、入山、古河、磐炭の九組の折口論し根本町議は松崎町議と折口論し根本町議は松崎町議の顔を殴打し全治七日を要するの傷を負はせたので平検事局に告訴され取調中の旨報の如くであるが、検事は三十日松崎氏も検事の意を諒とし茲に妥協成り告訴を取り下げ圓滿解決した。

## 實母殺しの檢舉

### 平署長 横山宗延氏談

郡山署長時代の痛快事。昨年九月三十日出署日の午前十一時頃出署した管内安積郡允守村大字安子島駐在所に巡察中熊谷久雄君は次の如き報告を附した。曰く九月二十九日午前十一時死亡した丸守村大字安子島字竹籠五八ノ三農若林慶藏實母若林シゲ(七五)は子

## 七年目に振られて歸れば 家もなし。親もなし

### 幼児二人を抱いて 平町役場に保護願

平町鎌田町生れ紺野利夫(三二)を通じ幼児二人を置き去りにし七年間情婦四倉町東町菜花へて行衛不明となり其後營業が振四、最高四圓九十九錢、最低三圓九十錢、平均四圓三十三錢(三〇)と晴れて添はれぬのではぬので閉居し歸郷したが、兩子墮落し數年前迄水戸市で化粧品親は既に何處へか轉居した跡な店を営んでゐたが、浮氣な女はので途方にくれ幼児二人を連れ數ヶ月前東京市神田區神田町の二十日役場に轉居先を調べて貰保險外交員西山春雄(二八)と情ひ度いと願ひ出た。

## 石城の選手二十一名 必勝を期して出發

### 縣青年團體育競技

縣聯合青年團體育大會は明日日野球大會に出場するため左の選手二十一名は三十日午前九時平野發越線列車で西山副團長引率の下に心勝を期し出發した。

## 平町人事

出生  
播通小路一九東京市中野區上高田町一丁目一〇六木田芳雄  
長男雅夫、仲間目五高橋鐵太郎  
長女和子、五間目二八夏井村上大越塚越六五鶴西義四男

之を開いた横山署長は迷つた事實とすれば重大事件であるが全然暗に過ぎなかつた場合隠蔽一族にかゝる迷案は其大であるばかりでなく警察全体を信用に關する、知らぬふりをしておけば無難だが荷くも警察官としての職責を全ふすは實に負ふて自決するばかりだ。決定し直ちに司法主任に報告し以下刑事部並に熊谷巡察官を急行せしめた。同一行は出棺際の葬式中止を命じ死体を檢案した。すると横山署長の第六感通り左の事實が判明した、死者の左上腹部及び後頭部頭等にて表皮剝離又は皮下出血等がある事  
二、死者の腰部並に胸部に皮下出血がある事  
以上は大体外部の所見によつて簡単に發見されたもので、これだけの外傷があれば子宮癌の死因とは思はれぬと横山署長を通じて郡山檢事局に報告し取敢えず隠蔽(五四)妻(五二)を引致した。福島地方裁判所よりは片立檢察官、武山檢察官、大原八郎博士等一行出張死體解剖を行つた處外部強打による臓器の出血と鑑定し學理上動かす可からざる根拠が握られたので嫌疑者の取調べを開始した。

商球場で常務銀行と初試合を行ふ役場チーム左の如し  
部長須藤、主將吉田、投手金子、捕手森、一佐藤、二荒川、三山田、遊高羽、左吉田、中稻葉、右橋

▲四倉瀨市場 四倉瀨市場二十九日の取引は出荷八百六十四圓、最高四圓九十九錢、最低三圓九十錢、平均四圓三十三錢四十三圓である。

▲秋期衛生掃除 好間村岡田川炭礦では一日秋期衛生掃除を行ふ。

▲大野、大浦運動會 大野村第一、第二兩校聯合運動會は十月十二日第一校庭で、大浦校運動會は十二日同校庭で舉行する

▲デパート 湯本町三國紺野(八ツ)は二十九日デパートと決定した。

### 女留置人の死

(一) 警察官の手記  
どうだね「變はないかね」宿直のS部長は派出所の監督から歸つて来たときみへて看視室に姿をみせた。

「ハイ異状ないのですが高島が大部うなされて居る様です」  
娘を殺した男と云ふのは高島益藏と云ふ管内×村の小作百姓だつた。あゝそう、私が悪かつたね、君達に話して置く事だつたが遂に忘れてしまつてね、何でも高白はうなされると云ふ事だつたね。昨日やつと傷があらまし癒くなつたので病院から連れて来たんだが、昨夜宿つたA君が僕にそう云つたよ。

### 迅速と廉價

印刷物は 加納活版所  
「いや風なんか交つて派出所廻りも楽でないよ、だが皆んなこんな日でもよくさばらないて居てくれたので廻り甲斐がある様な気がした。君はまだ赴任後間もないからそう省略もしまひがね、この街の派出所に三四年も居るともう校い一方でね、最も大きい處は何だかんだと仕事も多し、雑務には使はれる全く勤務も楽ではないんだが、拜命してから三十年近いと云ふS部長は年が然らしめたのか多年の経験からの修養か部下からは近づき安いの、監督者として敬まはれて居つた。だが君勉強は若いなだよ。自分も拜命當時は人一倍本を讀んだものだつた。だが今は現任の立場が至つて居ないがね、だが今更ら過去に未練や悔を残しはしないし、自分自身現在の境況に満足をして居るつもりなんだからね。」

### 土地賣却廣告

- 一、平町字大町十番地  
宅地五百六十四坪 (分譲致します)
  - 一、同 五番地  
宅地三百七十三坪四合 (同上)
  - 一、同 五番地ノ二  
宅地百五十四坪 (同上)
  - 一、同字新川町三十三番地  
宅地百九十三坪三合 (同上)
  - 一、同 十七番地  
二百九十一坪 (同上)
- 右至急賣却致します  
御希望の方は左に御相談下さい  
平町字大町四番地  
中野勇吉  
電話一三三番

かまぼく製造  
折詰仕出し  
た惣菜用  
さつま揚  
吉原揚  
平町一丁目  
電話一四一番

外科 一般外科 内臓外科  
性病科 X光線科  
入院隨意 (自炊の便あり)  
元赤心堂病院跡  
安齊外科醫院  
電話四七五

耳鼻咽喉科専門  
平町田町七十番地  
山内醫院  
入院隨意 醫學士 山内亨吉  
病室完備 電話六九一番

和洋銅鐵金物問屋  
久益屋商店  
諸橋久太郎  
電話九九番

東神火災保險株式會社 磐城代理店  
東京動産火災保險株式會社  
河田鐵工場  
河田梅吉  
營業所 福島縣平町白銀町一  
電話三二九番 二九五番  
本社 東京市日本橋通り三丁目  
仙臺支部 仙臺市大町三丁目

外務社員採用  
初任固定給月三十圓  
廿五才以上 男女、を問はず  
履歷書携帶左記へ 面會毎日午後  
平町田町一七  
レ스토랑 サロン方  
仁壽生命平駐在 吉田仁三郎  
電話二五二番

小學生用(長ズボン付)  
A.....90円  
B.....1.10円  
特製品.....2.50円  
中學生用  
特製6號.....3.50円  
御註文(特上).....6.50円  
ふかや洋服店 平三 電203

黒小倉通學服賣出  
冬服の御用意をなさいましたか  
弊店は御満足の頂ける黒小倉を  
澤山取前へ特價にてお務めして  
おります。  
コンポーク  
鹽豚  
平町田町  
三三三屋  
電話三三三番

蒲鉾製造開始  
氷水賣出中は特別の御引立に預り有難く御  
禮申上ます  
本日より例年の通り蒲鉾製造を開始しまし  
たから倍舊の御引立を願ひ上げます  
かまぼこ  
折詰仕出し  
御惣菜用 さつま揚、吉原揚  
平町二丁目  
藤市蒲鉾店  
電話二二〇五番

二葉印刷所  
平町仲町。電話一九三番